

いまこそ仲間を増やして 秋季年末要求を前進させよう



左から進行の仁木書記長、コーディネーターの尾崎副委員長、パネラーの前田さん（府職労）、藤原さん（枚方市職労）、屋馬さん（泉佐野市職労）

大阪自治労連は10月20日に「秋の組織・共済拡大交流会」を大阪市内で開催し、「未加入者との対話の進め方」「心がけていること」などをテーマにパネルディスカッションしました。少人数での分會では「対話の重要性」「職場の声を発信」「身近な組合」「組合員とつながる」などのキーワードが出され、秋の組織拡大推進に向けて「すべての単組で仲間を迎えよう」と確認しました。



輝け憲法！ 平和といのちと人権を

11・3 おおさか総がかり集会

日本国憲法の公布から78年。「11・3 おおさか総がかり集会」は会場（中之島中央公会堂）いっぱい、1200人をこえる参加で大きく成功しました。集会後、西梅田公園まで元気よくパレードしました。

高石市職労結成70周年企画大きく成功！

副執行委員長
大塚 桂子さん
(松の美園・保育士)



私の人事異動があつて、いろいろ大変な時期でしたが、みんなが考えた企画で参加者に喜んでもらえるのが一番ですね。
 大塚 執行委員会で「70周年企画どうする」と聞いても、議論が深まらなかつたんですよ。先輩OBの助言も参考に「しゃべり場でワークショップをやる」と決めて、「私たちが自治体で働くという」と話しやすいテーマにしたのがよかったです。それをきっかけに、みんなで話しあえる時間をつくったことが成功の大きなカ

支援を受けてうれしかったです。
 大塚 あの「平成の大合併」が全国的に進んで、埼玉県内の「3市合併」で「さいたま市」ができたニュースが入って「高石市もやばい」と正直なところ心配でした。
 堀川 そうですね。住民投票で負けて「堺市高石区」にならなくて、本当によかったです。
市民に寄り添う仕事にやりがいと誇りをもって
 堀川 前の市長はすぐ怒鳴ってバワハラが横行していました。いま

の子育て支援できる施設で勤務しています。いろんな職種のみならずと協力しながら、障害をもつ子ども相手なので保護者の悩み相談なども対応しています。
 公立保育所と認定こども園があり、保育の仕事が大好きなので現場から離れたくないですね。久しぶりに新採の保育士さんが組合に加入してくれて、職場の仲間から「うれしい！励まされる」と歓迎する声が増えたとみんな元気になれる」と実感しています。

執行委員長
堀川 和貴さん
(都市計画課・事務職)



高石市に入庁後、すぐ組合加入し「市職労役員になったのは自然の流れ」と答える堀川さんと大塚さん。70周年記念にあたり「いまの組合員が元気になれる企画」にこだわったそうです。高石市職労がめざす「さらなる高みへ」に注目していきたい。
**みんなで話しあい
70周年企画も好評**
 堀川 10月26日の記念レセプション主催者あいさつで「70年の歴史を振り返り、私たち衛都連のスロガン『地域住民の繁栄なくして自治体労働者の幸福はない』が重要である」と申し上げたんです。

ギでしたね。
**「合併NO」で勝利
うれしかった住民投票**
 堀川 2003年4月、「堺市との合併」是非を問う住民投票は、約75%もの市民が「合併反対」で、地方自治がいける「高石市の継続」を選択したんです。多くの

の市長は「市職員と信頼関係を築いて市政運営したい」と市役所内の雰囲気もいい感じですが。一方で、減らし続けた職員数に対し、業務量が減っておらず、どこも非常に厳しい実態があります。
 私の職場は「建物の耐震診断・耐震改修」「プロック塀の撤去」をはじめ、「空き家の放置問題」など、深刻な社会問題を抱える部署です。住民のくらしと安全を守る仕事にやりがいを感じています。
 大塚 障害をもつ子どもたちの発達を促しながら、安心して保護者

なかまを増やして 新たな前進をめざそう